

平成 28 年度 精神老年運動器疾病論試験問題  
(ーリハビリテーション疾病論ー 担当：中川)

各問題の選択肢のうちから解答を一つ選びなさい。

1. 「リハビリテーション」という言葉の元々の意味はどれか。

1. 予防
2. 治療
3. 治癒
4. 破門
5. 復権

正解 5

2. リハビリテーションが最も大きく発展するきっかけとなったのはどれか。

1. ローマ帝国滅亡
2. 宗教改革
3. 産業革命
4. 明治維新
5. 世界大戦

正解 5

3. リハビリテーション医療が、その予防・治療の対象とするものはどれか。

1. 疾病
2. 障害
3. 介護
4. 福祉
5. 教育

正解 2

4. ノーマライゼーションの提唱者は誰か。

1. ヒポクラテス
2. ジャンヌ・ダルク
3. ナイチンゲール
4. ヘレン・ケラー
5. バンク・ミケルセン

正解 5

5. II 運動について正しいのはどれか。

1. 障害者の親たちの抗議行動から始まった。

2. 障害者の身体的自立を目指した。
3. 障害者の経済的自立を目指した。
4. 生活保護の拡充を目指した。
5. 社会の構成員としての参加を目指した。

正解 5

6. バリアフリーとして誤っているのはどれか。

1. 駅前に車椅子使用者のための駐車場を確保した。
2. バスの乗車口の段差をなくした。
3. 図書館の玄関前に車いす用のスロープを設置した。
4. 学校の文具・設備にユニバーサルデザインを導入した。
5. ホテルの玄関前に盲導犬用の待機場所を確保した。

正解 5

7. ST と略称されるリハビリテーション関連職種はどれか。

1. 理学療法士
2. 作業療法士
3. 言語聴覚士
4. 義肢装具士
5. 社会福祉士

正解 3

8. 脊髄損傷にて、意識清明だが完全四肢麻痺のある入院患者用にナースコールを設置したい。以下のうち誰に相談するのが最も適切か。

1. 理学療法士
2. 作業療法士
3. 言語聴覚士
4. 義肢装具士
5. 社会福祉士

正解 2

9. 歩行困難は、国際障害分類 (ICIDH) において、以下のどれに相当するか。

1. 機能障害
2. 能力低下
3. 社会的不利
4. 個人因子
5. 環境因子

正解 2

10. バーセル指数 (Barthel index) について誤っているのはどれか。

1. ADL の評価である。
2. 名義尺度である。
3. 10 項目、100 点満点である。
4. 更衣が評価項目に含まれる。
5. 階段昇降が評価項目に含まれる。

正解 2

11. 廃用症候群について誤っているのはどれか。

1. 過度の安静により生じる。
2. 筋力は低下するが、筋萎縮は生じない。
3. 若年者にも生じる。
4. 深部静脈血栓症もその一つである。
5. 急性期リハビリテーションの主要な治療対象である。

正解 2

12. ROM とは何を指すか。

1. 高次脳機能
2. 言語機能
3. 記憶力
4. 関節可動域
5. 最大筋力

正解 1

13. 高齢者の転倒について誤っているのはどれか。

1. 65 歳以上の在宅高齢者における転倒発生率は約 1%/年である。
2. 過去 1 年間の転倒経験はその後の転倒に関する強い予知因子である。
3. 多くの内服薬服用は、危険因子の一つである。

4. 転倒するとその 1～2 割に骨折を生じる。
5. 転倒予防対策としての運動療法では、下肢筋力・歩行能力の強化とともにバランス能力の強化が重要である。

正解 1

14. 加齢に伴って生じる筋量の減少を何というか。

1. 筋ジストロフィー
2. ポリオ
3. 重症筋無力症
4. サルコペニア
5. 多発性筋炎

正解 4

15. 関節軟骨や椎間板髄核の特徴として誤っているのはどれか。

1. 水分を含む。
2. II 型コラーゲンを含む。
3. プロテオグリカンを含む。
4. 血管に富む。
5. 神経がほとんど分布していない。

正解 4

16. 高齢者が転倒して肩を打撲した後、痛くて肩が挙がらないと訴える。もっとも考えられるのはどれか。

1. 上腕骨近位端骨折
2. 橈骨遠位端骨折
3. 肋骨骨折
4. 胸椎圧迫骨折
5. 骨盤骨折

正解 1

17. 四肢の切断について誤っているのはどれか。
1. 上肢切断の原因としては労働災害事故が多い。
  2. 下肢切断の原因としては糖尿病や閉塞性動脈硬化症が多い。
  3. 義手では、装飾義手が最も多く処方されている。
  4. 下肢切断後、すぐに義足が装着できて歩くことができる。
  5. 義肢は医師が処方し、義肢装具士が作成する。

正解 4

18. 運動器の障害により、介護・介助が必要になったり、そのリスクが高くなったりしている状態を何というか。

1. メタボリックシンドローム
2. 生活習慣病
3. ひきこもり
4. ロコモティブシンドローム
5. 老年症候群

正解 4

19. Freud によるフレイルの基準に含まれないものはどれか。

1. 体重減少
2. 筋力低下
3. 主観的疲労感
4. 認知機能低下
5. 日常生活活動量の減少

正解 4

20. 脳卒中の病型として本邦で最も発症数が多いのは以下のうちどれか。

1. 脳梗塞
2. 脳出血
3. クモ膜下出血
4. 高血圧性脳症
5. 腫瘍内出血

正解 1

21. 脳卒中後の片麻痺患者において、非麻痺側上肢を拘束した上で、麻痺側上肢に対し集中的に訓練する治療法を何というか。

1. 免荷療法
2. 装具療法
3. CI療法
4. 機能的電気刺激療法
5. 経頭蓋磁気刺激療法

正解 3

22. シンシナティ病院前脳卒中スケール Cincinnati Prehospital Stroke Scale (CPSS)について誤っているのはどれか。

1. 評価項目に「顔のゆがみ」がある。
2. 評価項目に「上肢の挙上」がある。
3. 評価項目に「構音障害」がある。
4. 評価項目の一つでも該当すれば、脳卒中の可能性が、約7割と報告されている。
5. 脳梗塞と脳出血の鑑別に有用である。

正解 5

23. 脊髄損傷について誤っているのはどれか

1. 原因として交通事故が最も多い。
2. 女性より男性に多い。
3. 患者のほとんどは高齢者である。
4. 頸髄損傷が約3/4を占める。
5. 高位脊髄損傷では人工呼吸器が必要となる。

正解 3

24. 肺がんの手術症例に、術前、腹式呼吸訓練や喀出訓練を行った。がんリハビリテーション分類 (Dietz の分類) において、以下のいずれに分類されるか。

1. 教育的
2. 予防的
3. 回復的
4. 維持的
5. 緩和的

正解 2

25. 自覚的運動強度を示すものはどれか.

1. ボルグ指数
2. 心拍数
3. 血圧
4. 心電図
5. 無酸素性閾値

正解 1

30. BMI を表す式はどれか.

1. 体重 kg ÷ 身長 m
2. (体重 kg の 2 乗) ÷ 身長 m
3. 体重 kg ÷ (身長 m の 2 乗)
4. (体重 kg の 2 乗) ÷ (身長 m の 2 乗)
5. 体重 kg ÷ (身長 m の 3 乗)

正解 3

26. Blackburn による最大予測心拍数予測式はどれか.

1. 220 - 年齢
2. 100 + 身長
3. 120 + 体重
4. 8 × BMI
5. 2 × 安静時心拍数

正解 1

27. 呼吸機能の評価でないものはどれか.

1. 動脈血ガス分析
2. 経皮的酸素飽和度
3. NYHA 分類
4. Hugh-Jones 分類
5. 6 分間歩行試験

正解 3

28. メタボリックシンドロームの評価項目でないものはどれか.

1. 腹囲
2. 血圧
3. 心電図
4. 血糖値
5. 血中中性脂肪・コレステロール値

正解 3

29. 糖尿病に対する運動療法について正しいのはどれか.

1. インスリン感受性の増加が目的である.
2. 無酸素運動が推奨される.
3. 運動中低血糖になることはない.
4. 運動強度は強ければ強いほどよい.
5. 眼底出血がある増殖網膜症合併例でも特に制限はない.

正解 1